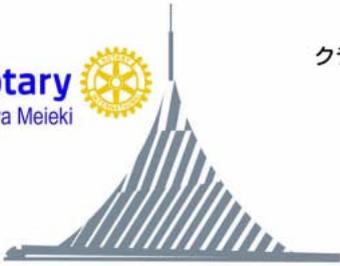


2019-20 年度

WEEKLY REPORT

Rotary
Club of Nagoya Meieki

クラブ会長方針 「つながり、広がる奉仕の絆」

スローガン 「明るく楽しく和気藹々と」

名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル会 長：西川達郎
副 会 長：川田武司
幹 事：早川敏江
クラブ会報：石川正裕

2019-20 年度 R.I. 会長

マーク・ダニエル・マローニー

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail：meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

休会特別版 第2弾

新しい米山奨学生と、次期R.I.テーマを紹介します！

2020年4月22日(水)

(令和2年)

会長あいさつ

西川達郎会長

皆様、我慢の自粛生活いかがですか？ 慣れましたか？ 街中を車で走っていても閑散として、以前観た映画の1シーンのように寂寥感が漂っています。しかし未だこの地区のロータリアンから感染者が出たということを知りませんので、何よりです。

遂にCOVID19の国内感染者が1万人を超えてしまいました。TVでは連日、ワイドショーなどであてもないこうでもないと百家争鳴、かまびすしいですね。正しい情報を得るべく取捨選択しています。

さて、今回は、このコロナ感染症の症状の中の嗅覚や味覚障害について少し触れます。その主症状は咳などの呼吸器症状ですが、嗅覚や味覚障害もあることが、プロ野球選手が発症したことで明らかになりました。約30%の感染者にこの症状が出るようです。私も職業柄そのような障害のある患者さんを多く診てきましたが、殆どがアレルギー性鼻炎や副鼻腔炎(いわゆるチクノウ症)に伴うものか、加齢によるもの(中にはアルツハイマー病の初期症状も)でした。プロ野球選手の報告まではこのコロナ感染でも発症するとは思いません、認識不足でした。考えてみれば従来の他のウィルスによる感冒(風邪)でも味覚や嗅覚障害はあるわけです。

においを感じるのは、鼻腔上部の嗅裂にある嗅細胞、すなわちセンサーににおいの素が到達し、さらにその情報が嗅神経で脳の嗅覚・味覚中枢に伝達されるからです。ですから前述の鼻の病気による鼻づまりなどで、においを持った空気がセンサーに届かなければにおいが感じられないし、またウィルスや加齢などで嗅細胞や神経が障害されてもおいを感じません。またこの両方がミックスした場合もあります。

通常は鼻の病気が治れば嗅覚ももどります。ウィルスによる通常の感冒の際も2～3週間で自然に回復します。ですから現在のコロナ感染症でも同様

のようです。残念ながら加齢等で長年にわたり気付かないうちににおいが分からなくなったようなケースでは回復困難です。

よく風邪をひいたりした時に、食事が味気なく感じられるようになったという経験をすることがあります。この時、大なり小なり嗅覚も鈍くなっていることに気付くことがあります。これを「風味障害」といいます。「この食べ物には風味がない」という時の「風味」です。これは、嗅覚と味覚を処理する脳の中枢が統合された場所にあることから起こります。

日本耳鼻咽喉科学会からのお知らせとお願いがあります。「もし急に、嗅覚や味覚障害の異常を感じるようになった場合、万が一COVID19であるかもしれませんが、特効薬はありませんし、急ぐ必要はないので、2週間は出来るだけ外出を控え、医療機関への受診は控えてください。自然に治ることも多いのでしばらく様子を見て、2週間経って他の症状がなく嗅覚や味覚が改善しない場合は耳鼻咽喉科を受診してください」。

このコロナ禍が終わった時、社会や家庭において今までと違った変化が起き始める契機になるかもしれません。良い変化であることを期待して、まだまだ用心しましょう。

□幹事報告

早川敏江幹事

(1)4月16日付持回り理事会の報告です。

◇議題1：5月以降の例会開催について：5月例会は引き続き休会。6月以降については5月2週目を目途に再協議します。

◇議題2：例会開催ができない場合の対策について：協議の結果、①ウィークリー特別版の発行、②HP上での例会開催が提案されました。今後、HPで運用できるシステム構築を進め、5月は準備試験運用期間とし、6月導入を検討します。

◇議題3：細則への対応について：HP上での例会開催の運用導入に際し、細則の変更が必要となります。現時点では、緊急措置として理事会で承

認められました。今後、運用が確実に変わった時点、または次年度以降に細則変更の対応をします。

◇議題4：入会および入会者への対応：新たに浦沢知行さんの入会が確定しました。現在、入会予定者は入会式もできない状況のため、会員組織委員長に様々な支援・対応をして頂きます。

◇議題5：休会期間の会費について：継続審議。

◇議題6：補助金事業申請について：4/16付会長挨拶の通り、第2760地区ではコロナ対応事業に特化した地元の活動を支援するため、地区補助金(上限50万、クラブ負担金なし)の資金活用が認められ、当クラブからも「学童クラブ支援プロジェクト」を申請手続き中です。※地区内クラブから相当数の申込があり、分配見直しが検討されるとのことで、申請の承認が決定次第報告します。なお、この「学童クラブ支援プロジェクト」に以下の方々よりご協力を頂きました。田口 望さん(ペーパータオル)、神保 誠さん(マスク)、盛田兼由さん(おやつパン)。申請許可が下り次第、中村区内の7か所の学童クラブに配給予定です。

また、学童保育所の職員様からは、以下についても支援要請がありました。○衛生用品(マスク、ティッシュ、トイレトーパーなど)。○食品(野菜、米など)。○遊具等(ボール、バトミントン、卓球セット、ボードゲーム、トランプ、絵本など)。会員の皆様でご協力頂ける方は宜しく願います。詳細は幹事または事務局までご連絡下さい。

(2)新型コロナウイルスの影響で延期された「地区研修・協議会」の日程が6月6日(土)となりました。昨今の状況を踏まえ、例年のように多人数での開催ではなく、当日はガバナー補佐等各分区分代表者1名のみでの出席となり、クラブからは出席しないことになりました。分科会は時間短縮のため行われません。本会議等の映像・文書は後日各クラブに電子的に配信されるということです。※状況は変化する可能性がありますので、5月18日(月)に開催内容について改めて判断するということです。

米山奨学生紹介

◇自己紹介



米山奨学生 ブイ ティ ホアさん

私の名前はブイ ティ ホアと申します。ベトナムから参りました。今、日本福祉大学の国際開発学部で学んでいます。私が日本に留学した理由は日本語教師になりたいからです。子供の頃から、教師の仕事をやりたいと思っていました。

自分の知識を他の人に伝えられると嬉しいからです。また、人と話すのも好きです。

今回、米山奨学生に選んで頂き、心から感謝しています。ロータリークラブに参加すると、たくさん出会いができ、日本語や日本文化も勉強できます。これから、もっと楽しい生活になると思います。

今年はコロナウィルスの影響で、色々活動が中止になり残念です。今、私の大学も休校状況になって

います。しかし、5月11日から授業に参加する予定です。私が勉強している学部は2年後期と3年前期はアクティブラーニング期間なので、学校の授業はゼミしかありません。アルバイトも休業の状況です。だから、今とても暇な生活で、家で日本語を勉強したり、本を読んだり、映画を見たりしています。

私は7月にN1日本語能力試験を受ける予定ですが、コロナウィルスの影響で中止になる可能性もあります。今年は大学のゼミで2つのテーマがあります。日本語教育と多文化共生の勉強です。自分が好きなテーマなので、勉強するのが楽しみです。3年生と4年生に日本語教師になるための授業がたくさんありますので、私は全部受けたいと思います。大学を卒業したら、大学院に行くか、日本で日本語教師として就職したいと思います。今はまだ、大学院に行くか日本で就職するかははっきり決まっていますが、とりあえず、日本語と大学の勉強を頑張ります。

◇委嘱状

当クラブ(世話クラブ)と、近藤元帥さん(カウンセラー)に委嘱状が届きました。



□4/8休会特別版へのメッセージ

◇ロータリー米山記念奨学会 峯様……いつも貴クラブの週報をお送り頂きありがとうございます。今回の号には、米山奨学生の許さんについても掲載されていますので、大変参考になります。事務局スタッフで回覧させて頂きます。許さんも、このような中でも温かく送り出してくださったことをきっと心から感謝していると思います。米山奨学生への温かいお気持ちに、当会からも厚く御礼申し上げます。

◇山本浩幸さん……掲載のご連絡ありがとうございました。実は……私はまだ待機組として日本におります。中国政府が外国人の駐在としての受入制限をしており、その解除および飛行機の運航再開を待っての天津赴任となる予定です。GW明けかなあ……。なお会社のメールアドレスは、海外に行っても機能しますので引き続き宜しくお願い致します。

◇四方浩之さん……ウィークリーの送付、ありがとうございます。今週より在宅勤務となっており、慣れない日々を過ごしています。厚木中RCも休会が続いており、まだ入会手続きも済んでいない(申請中)状態です。名古屋もコロナで大変だと思いますが、あらためて皆様に、よろしくお伝えください。

□新型コロナウイルス支援情報まとめサイト

次期地区防災委員会 (出向) 加藤定伸さん

地区防災委員会 杉本委員(江南RC所属)より頂いた情報です。「NHKニュースで紹介されたマネーフォワードのサイト「新型コロナウイルス支援情報まとめ」が使いやすかったのでシェアします。事業者向け、個人向けなど目的ごとに検索でき、リンクで簡単に元資料にあたれます。https://covid19.moneyforward.com/personal/supports」。

□私流: Stay Home 寛 正紀さん

自粛の過ごし方ですが、会社としてどう対応していくのか、テレワークをするためのノートPCの調達、社員の通勤方法変更や出勤時間の調整などなど、何をするにも初めての事で(当たり前ですが)迷いながらも対応に努めています。個人的には自宅と会社の往復で引きこもっています。答えのない、先が見えない日々でストレスがたまる一方です。

PETS (会長エレクト研修セミナー)のご報告

山本裕三会長エレクト

まずは、会員の皆様方が新型コロナウイルス感染拡大によりご心労のことと拝察し、心よりお見舞い申し上げます。

さて、PETS (会長エレクト研修セミナー)のご報告です。

すでに My Rotary でご覧頂いていると思いますが、2020 -21年度のRIテーマは「Rotary Opens Opportunities - ロータリーは機会の扉を開く」次期RI会長はホルガー・クナーク氏(ヘルツォークトゥム・ラウエンブルグ・メリン・ロータリークラブ所属・ドイツ)です。

これを受け、当第2760地区 岡部ガバナーエレクトは、地区方針を「行動するロータリアン! 世界で何かよいことをしよう、TOGETHER!」とされました。

今年度のPETSは当初3月7日開催予定でしたが新型コロナウイルスにより延期となり、更には開催形式も変更。各資料とともに、ガバナーエレクト、研修リーダー等のスピーチが収録されたDVDが送付され、DVD視聴による研修形式となりました。

このDVDの中では、現在、ロータリーという1つの団体がこのコロナによって分断されてしまっていて、本来の奉仕活動もストップせざるを得ない状況にある。このような緊急事態にロータリアンとしていかに対応すべきか。そして、緊急事態が終息に向かった時、あらためて活発な活動を再開しよう、ということが述べられていました。

このDVDを視聴して、私は次のように理解しました。現在は新型コロナ騒動の影響で世界大会、地区研修・協議会、例会等も中止になり、ロータリー自体が大きく分断されています。現時点では、まずはご自身、ご家族、企業を最優先に守ってください。そして、騒動が終息した時こそロータリアンが全員で力を発揮する時だ! ということです。

本来ですと、例年この時期には、当クラブの方針

も発表され次年度への準備が始まっている頃です。しかし、この情勢下、顔を合わせて親睦を深め、集って相談することもできない状況です。よって、今一度ゆっくりロータリー活動というものを見直し、次年度に向けての方針を考えようと思っております。

〈ホルガー・クナーク次期RI会長

国際協議会(2020年1月20日) テーマ講演 抜粋)



多くの意味で、ロータリーは素晴らしい状態にあります。しかし、何もせずにこれまでの功績に満足していることはできません。

ロータリーは変わらなければなりませんし、必ず変わります。ポール・ハリスが言ったように、時に革命的でなければなりません。革命的であるべきときは、まさに今なのです。そして、新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです。

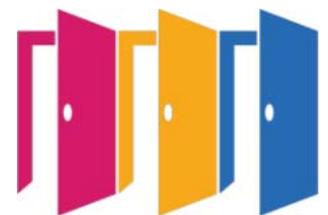
今の若者は、奉仕を楽しみ、活動的でありたいと望んでいます。ローターアクターと一緒に活動したことのある方なら、この若者たちが聡明で、活発で、行動力のある人たちであることを知っているはずで、ローターアクターや若い職業人にロータリーの扉を開こうではありませんか。

一方で、ロータリアンとなるのにふさわしくない年齢はないということも覚えておきましょう。どの新会員も、私たちを少しだけ変えてくれます。新会員から学び、その経験と知識を生かすことで、私たちはより強くなります。だからこそ、クラブに、そしてリーダーの役職に、もっと多くの女性が必要なのです。新しい人と出会い、その人たちにロータリーを楽しんでもらうことは、私たち自身にとっても楽しみであることを忘れてはなりません。

楽しむための一番の方法は、この協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること(together)です。集まれば、より活動的になることができます。

ロータリーとは、無限の機会への招待です。ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれます。私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています。

従って、私たちの年度のテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。



ロータリーは機会の扉を開く

ニコボックス

○4月は誕生日です。例会がないのはさみしいのですが、誕生日プレゼントをお送り頂きありがとうございます。ニコボックスをしないでの頂き物は気持ちが落ち着きません。事務処理にご迷惑とは思いますが、銀行振込を致しました。処理をよろしく願い致します。閉じこもりの毎日。生活のリズムがつかめません。皆さんとワイワイ早くやりたいものです。(大橋昭治さん)